

市町村名	伊平屋村						
平成26年度(繰越) 沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分) 検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	伊平屋島災害時避難所施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成26～28年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	地震や津波、台風などの自然災害に強いむらづくりを推進するため、災害時に住民・観光客等が避難する避難指定場所のライフライン等の機能強化により、避難者が安全に安心して避難できる施設の整備を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	26年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	27,944	—			
		(b) 予算現額	27,944	—			
		(c) 増減額(b-a)	0	—			
		(d) 繰越額	—	25,300			
		A. 計(b+d)	27,944	25,300			
	B. 執行済額		2,656	25,290			
	うち交付金充当額		2,166	20,189			
	次年度繰越額		25,300				
	執行率(%) (B/A)		9.5%	99.96%			
予算の状況の説明		地域住民及び自治会代表者との意見交換及び整備箇所要望等調整に時間を要し、設計業務については、平成26年度年度内に完了したが、工事予算について繰越をし、公民館の防災機能強化工事を5箇所実施した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	村内各避難施設の機能強化工事設計	目 標	(設計業務・監理委託業務の完了)	()	()	()	
		実 績	設計業務・監理委託業務の完了				
	施設強化工事 5カ所 非常用電源施設整備 2カ所	目 標	(5箇所 2箇所)	()	()	()	
		実 績	5箇所 1箇所				
達成状況説明	平成26年度に実施設計を完了、工事は平成27年度へ繰越。避難所施設機能強化工事 5箇所、非常用電源設備工事 1箇所完了。非常電源施設整備工事は、2箇所予定していたが、地域住民との実施設計調整において、施設改修を優先するよう要望があったため、暴風対策雨を優先し、電源設備を1箇所とした。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	村内各避難施設の機能強化工事設計の完了 施設強化工事 5カ所の完了 非常用電源施設整備 1カ所の完了	目 標	() ()	実施設計の完了 施設強化工事 5カ所完了 非常用電源施設設備 1カ所の完了		()	()
		実 績		実施設計の完了 施設強化工事 5カ所完了 非常用電源施設設備 1カ所の完了			
	進捗状況説明	平成26年度は、実施設計委託業務を完了し、工事については繰越して実施。一部施設において、施設運営に都合により工事着手が遅れたため、平成28年12月の完成となった。平成28年12月で整備が完了し、運用開始している。また、非常用発電設備については、一施設のみ整備を終えているが、他5施設については、平成28年度以降順次整備する予定。					

取組の検証	伊平屋村は、離島村という地理的条件の中、毎年のように襲来する台風による、停電や断水等のライフラインの停止で災害時避難指定施設としての機能が発揮されるよう施設の整備を進め施設機能は向上してきている。しかし、台風等の災害避難時には施設の窓等を締め切る必要があり、多くの住民が避難した場合は室内環境の著しく悪化する。施設避難者の身体的、精神的な苦痛となることから、空調設備の整備が必要となっている。また、当該施設は風水害を対象とした避難施設で有り津波災害を想定していない。よって食料などの備蓄等しても、津波災害時には機能しない。よって、津波災害等発生時に対応するため高台に備蓄倉庫を整備する必要がある。	避難施設の内3施設において空調設備が未整備又は老朽化による機能不全を興している状況にあり、避難者の身体的、精神的環境改善のために施設の空調環境の改善を図る必要がある。また、津波災害に対応した食料備蓄倉庫等の整備を推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
平成28年度は、停電時に備え非常用発電設備等の整備をはかり、29年度以降は施設空調環境の改善及び食料備蓄倉庫等の整備を段階的に推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
		<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象 事業費</td><td>交付金 充当額</td><td>市町村 負担金</td><td>交付対象 外経費</td></tr><tr><td>27,936</td><td>27,936</td><td>22,349</td><td>5,587</td><td>0</td></tr></table>			総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	27,936	27,936	22,349	5,587	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
27,936	27,936	22,349	5,587	0										
伊平屋村 27, 936千円 委託料 2,857千円 上城技術情報 株式会社 2,646千円 伊平屋島災害時避難施設整備事業 上城技術情報 株式会社 211千円 伊平屋村災害時避難施設整備工事監理委託業務 工事請負費 25, 079千円 有限会社 伊平屋興業 25, 079千円 伊平屋島災害時避難施設整備工事														
資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務選定方法は見積入札であり、工事請負費についても、指名競争入札であるため適正と考える。 ○予算は設計監理委託費及び工事請負費で、避難施設5箇所の暴風雨対策工事あることから適正な規模である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												